HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北方研究教育センター活動記録（2007年度～2017年度）
Citation	北方人文研究, 11, 119-141
Issue Date	2018-03-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/70080
Type	bulletin (other)
File Information	11_08_houkoku.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北方研究教育センター活動記録
（2007 年度～2017 年度）

2007（平成 19）年度
［シンポジウム］
2007 年北京会議「北東アジアにおける考古学ネットワークの構築」
〈**10** 月 **27** 日〉
講演：「グローバルベース：考古学への応用」藤田晴啓（東洋大学）

ラウンドテーブル
報告「各国でのデータベースおよび **GIS** の考古学への応用」（その１）
座長：加藤博文
「シベリアにおける GIS 考古学」パストノフ・アレキサンダー（ロシア科学アカデミー）
「生態環境と楼蘭古城の盛衰」 楊 林（中国国家博物館）
「バイカルシベリアの遺跡データベースと考古学地図」
　ルニコフ・アンドレイ（イルクーツク国立技術大学）

報告「各国でのデータベースおよび **GIS** の考古学への応用」（その２）
座長：徐光輝
「半支箭河中流域先秦時期遺跡の空間分布」滕銘予（吉林大学）
「GIS による臨汾盆地の古代人地関係研究」劉建国

〈**10** 月 **28** 日〉
国際共同講義「東北アジアの考古学発見と研究」
司会：魏堅、加藤博文
「蒙古国における回鶻古城と墳墓の調査研究」林梅村（北京大学）
「先住民考古学の世界的動向」ハドソン・マーク（西九州大学）
「アルタイにおけるムステリアン期の洞窟調査」
　パストノフ・アレキサンダー（ロシア科学アカデミー）
「バイカルシベリアにおける中世考古学の成果」
　ハリンスキー・アルトゥール（イルクーツク国立技術大学）

日時：2007 年 10 月 26 日（金）–30 日（火）
会場：中国人民大学（北京）

主催：北方研究教育センター
共催：中国人民大学歴史学院・同北方民族考古研究所・龍谷大学国際文化学部

［講演会等］
1．北方研究教育センター第 1 回講演会
「中国東北部における旧石器研究の新動向」
講師：陳全家（吉林大学辺疆考古学研究中心教授）
（中国語通訳：内田宏美・国学院大学大学院博士課程）
日時：2007 年 6 月 21 日（木）18:30–20:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W517 教室
主催：北方研究教育センター

2．北方研究教育センター第 2 回講演会・2007 年度北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区懇談会共催第 1 回講演会
「よみがえったナーナイの樹皮舟」
講師：佐々木史郎（国立民族学博物館教授）
日時：2007 年 10 月 21 日（日）16:00–17:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W309 教室
主催：北方研究教育センター・北海道民族学会・日本文化人類学会北海道地区懇談会（共催）

3．北方研究教育センター講演会「ロシア沿海州ウデヘ族の過去と現在」
講師：アレクサンドル・カンチュガ（ウデヘ文化伝承者）
（ロシア語通訳：永山ゆかり・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所研究員）
日時：2008 年 1 月 29 日（火）
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W309 教室
主催：北方研究教育センター・北海道民族学会（共催）
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

［集中講義］
大学院共通科目「スラブ・ユーラシア学 II：北方の人文学」
　イントロダクション　望月哲男、津曲敏郎
　「言語と民族」 津曲敏郎、佐藤知己、永山ゆかり
　「文学と芸術」 望月哲男
　「自然と環境」 立澤史郎
　「文学と芸術」 谷古宇尚、新明英仁
　「考古と歴史」 加藤博文、S. クズネツォフ、森永貴子

日時：2008 年 1 月 29 日–31 日
主催：北方研究教育センター・スラブ研究センター（共催）

［刊行物］
『北方人文研究』第 1 号　創刊号（2008 年 3 月 31 日）
　発行者：センター長　津曲敏郎、編集代表者：宮武公夫

［後援事業］
講演会「サハリン・ウイルタの現状：彼らをとりまく開発、生態系そして文化の諸問題」
講師：リュドミーラ・ミソーノヴァ（ロシア科学アカデミー民族学人類学研究所上級研究員）
日時：2008 年 4 月 1 日（火）18:00–20:00
会場：北海道大学人文社会科学総合教育研究棟 W202 号室
主催：北海道大学アイヌ先住民研究センター
後援：北方研究教育センター

2008（平成 20）年度
［シンポジウム等］
1. 北大文学研究科公開シンポジウム「サハリンの言語世界」
第 **1** セッション
津曲敏郎「サハリンの言語世界：単語借用から見る」
山田祥子「ウイルタ語北方言調査の課題と展望」
朝日祥之「ウイルタ語・ニヴフ語話者の日本語樺太方言に見られる特徴」
笹倉いる美・篠原智花「道立北方民族博物館所蔵の服部健旧蔵資料について」

第 **2** セッション
佐藤知己「アイヌ語の条件表現について」
高橋靖以「アイヌ語サハリン方言の証拠性表現」
中川裕「アイヌ語の接頭辞度」
村崎恭子「樺太アイヌ語の数詞について」

第 **3** セッション
白石英才「ニヴフ語における CVCVC 語形と CVCC 語形の交替について」
丹菊逸治「V. サンギ氏採録によるニヴフ語サハリン方言録音資料について」
金子亨「ニヴフ語抱合再論」
A. ペヴノフ「ロシア・日本の共同によるウイルタ語・ニヴフ語の記録と研究」
　　（英語による発表）

日時：2008 年 9 月 6 日（土）10:00–17:20
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W202 教室
主催：北方研究教育センター
後援：アイヌ・先住民研究センター

2. 国際ワークショップ「北太平洋沿岸の狩猟採集民考古学」
International Workshop 2009 “Hunter-Gatherer Archaeoology in Northern Pacific Rim”

Speakers
CANADA: Andrzej Weber (University of Alberta), Robert Losey, Angela Lieverse
UK: Neil Price (The University of Aberdeen), Peter Jordan, Rick Shulting, White Dustin
RUSSIA: Alexander Vasilevski (Sakhalin State University), Alexander Popov
USA: Terry Hunt (University of Hawaii at Manoa), James Taylor
JAPAN: Kazunobu Ikeya, Toshiro Tsumagari, Hajime Ishida, Minoru Yoneda, Ryuichi Masuda, Takao Sato, Mark Hudson, Jun Takakura, Toshiro Yamahara, Tetsuhiro Tomoda, Yasuo Naoe, Takehiro Sato, Yoshiko Yamada, Tyriseva Martina, Kunio Yoshida, Katsuhiko Kiyama, Hirofumi Kato

日時：2009 年 1 月 10 日（土）—11 日（日）
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W 408 会議室
主催：北方研究教育センター・アルバータ大学バイカル考古プロジェクト
後援：北海道考古学会

3. 生誕百周年記念シンポジウム「知里真志保：人と学問」
「民族自身による言語の記録と研究」津曲敏郎
「アイヌ研究によるネイティヴの葛藤：知里真志保の場合」桑山敬己
「知里氏の民族誌研究の可能性：近世蝦夷地の漁場儀礼分析への応用の試み」谷本晃久
「知里真志保の描いたアイヌ学の構図」加藤博文
「樺太時代の知里先生」山口真（日本社会教育学会名誉会員）
「アイヌとして知里真志保に学ぶこと」横山むつみ（NPO 法人知里森舎代表理事）

日時：2009 年 2 月 22 日（日）10:00–17:20
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W103 教室
主催：北方研究教育センター

［集中講義］大学院共通科目「北方研究の最前線」

「人類学における『北方』研究」宮武公夫
「日本語と北方諸言語」津曲敏郎
「アイヌ語研究の最前線」佐藤知己
「アイヌ文化の形成の歴史的背景」加藤博文
「北海道美術史」北村清彦
「北方の自然環境」池田 透
「ロシア語の古文書を読む」森永貴子

日時：2009 年 2 月 4–6 日
主催：北方研究教育センター

［刊行物］

1.『知里真志保—人と学問 : 生誕百周年記念シンポジウム予稿集』（2009 年 2 月 22 日刊行）
2. シンポジウム報告集『サハリンの言語世界』（2009 年 3 月 9 日刊行）
3.『北方人文研究』第 2 号（2009 年 3 月 31 日刊行）
　センター長：津曲敏郎、編集代表者：宮武公夫

［後援事業］

1. 講演会「北方諸民族の音の文化：シベリアのフィールドから 」
講師： ユリ・シェイキン（国立極地芸術文化学院教授、2007 年度小泉文夫音楽賞受賞者）
（ロシア語による講演・通訳つき）
日時：2008 年 5 月 24 日（土）14:00–17:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W309 教室
主催：北海道民族学会・北方研究教育センター（共催）
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

2. 北海道大学アイヌ・先住民研究センターサテライト 2008 年度第 1 回講座 & 特別講座
「マンローと鳥居：同時代を生きた二人の事績、その活用」
〈サテライト講座〉プログラム
「マンローの横浜時代：二風谷定住以前の足跡」岡本孝之（慶応義塾大学准教授）
「N.G. マンローと鳥居龍蔵：二人の異文化へのまなざし」天羽利夫（元徳島県立博物館館長）
日時：6 月 13 日（金）19:00–21:00
会場：ふれあいセンターびらとり（平取町本町）

〈特別講座〉プログラム
「マンローの考古学研究：横浜時代を中心に」岡本孝之
「鳥居龍蔵の東アジア研究：その足跡と今日的意義」天羽利夫
日時：2008 年 6 月 13 日（金）14:00–17:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W202 教室
主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター
後援：北方研究教育センター

3. 北海道大学アイヌ・先住民研究センター講演会「アイヌ語の文法書を作る」
講師：佐藤知己（北海道大学文学研究科准教授）
日時：2008 年 7 月 18 日（金）18:30–20:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W309 教室
主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター
後援：北方研究教育センター

4. 講演会「雁と熊：想像世界での系譜と宇宙創成」
講師：フィリップ・ヴァルテール（グルノーブル大学教授、イマジネール研究所所長）
（フランス語による講演・通訳つき）
日時：2008 年 7 月 29 日（火）18:00–20:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W101 教室
主催：アイヌ・先住民研究センター
後援：北海道大学総合博物館・北方研究教育センター

5. アイヌ・先住民研究センター冬季シンポジウム
『アイヌ研究の現在と未来：第２部』
文化人類学
報告者：佐々木利和（国立民族学博物館教授）
コメンテーター：野本正博（アイヌ民族博物館学芸員）・本田優子（札幌大学教授）

法律学
佐々木雅寿（法学研究科教授・アイヌ・先住民研究センター）
コメンテーター：阿部ユポ（北海道ウタリ協会副理事長）・辻康夫（法学研究科教授・アイヌ・先住民研究センター）

形質人類学
報告者：百々幸雄（北海道文教大学教授）
コメンテーター：マーク・ハドソン（西九州大学准教授）

日時：2008 年 12 月 6 日（土）
会場： 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W203 教室
主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター
後援：社団法人北海道ウタリ協会・北大法学研究科高等法政教育研究センター・
　　北大文学研究科北方研究教育センター

6.「遊牧の民の調べ：モンゴルの馬頭琴とカザフのドンブラ」
司会とおはなし：西村幹也（NPO 法人しゃがぁ代表、北海道民族学会会員）
演奏者：ヨンドン・ネルグイ（馬頭琴、モンゴル在住）
　　リヤス・クグルシン（ドンブラ、モンゴル在住）

日時：2009 年 3 月 15 日（日）15:00–17:00 会場：北海道大学　遠友学舎
主催：北海道民族学会・NPO 法人北方アジア文化交流センター・しゃがぁ（共催）
後援：北方研究教育センター

2009（平成 21）年度

［講演会・シンポジウム］

「講演と唄の夕べ：サハリン先住民言語を伝え、残す」

講師・演者： E. ビビコワ（ウイルタ語伝承者）

I. フェジャエワ（ウイルタ語伝承者）

K. マチェヒーナ（エウェンキー語伝承者）

通訳：永山ゆかり（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所研究員）

日時：2009 年 6 月 2 日（火）18:30–20:00

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W309 教室

主催：北方研究教育センター

後援：北大アイヌ・先住民研究センター、北海道民族学会

［刊行物］

1．北方研究教育センター編『知里真志保：人と学問』（北海道大学図書出版会、2010 年 3 月 31 日刊行）

2.『北方人文研究』第 3 号（2010 年 3 月 31 日刊行）

発行者：センター長　津曲敏郎、編集代表者：宮武公夫

［後援事業］

シンポジウム「口承文芸の魅力：アイヌとその隣人」

基調講演

荻原眞子 （帝京平成大学教授）

「ユーラシアの英雄・勇者たち：アイヌの英雄叙事詩とのかかわりで」

講演

中川裕（千葉大学教授）「まだまだ知られていないアイヌ散文説話の魅力」

風間伸次郎（東京外国語大学教授）「ツングース系諸民族の口承文芸」

丹菊逸治（和光大学非常勤講師）「ニヴフ口承文芸の魅力」

遠藤志保（千葉大学大学院博士課程）「日本昔話とアイヌの散文説話」

総合討論

上記講演者および、

大谷洋一（北海道立アイヌ民族文化研究センター研究職員）

白石英才（札幌学院大学准教授）

日時：2009 年 6 月 14 日（日）10:00–17:30

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W203 教室

主催：北大アイヌ・先住民研究センター

後援：北方研究教育センター

2010（平成 22）年度
［講演会・シンポジウム］
1. 北方研究教育センターフォーラム
「言語で巡るシベリアの旅：極寒の地に暮らす人とことば」
第 **1** 部　古アジア諸語
「アリュートル語」永山ゆかり（北方研究教育センター）
「イテリメン語」小野智香子（千葉大学）
「ユカギール語」長崎郁（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

第 **2** 部　アルタイ諸語
「エウェン語」鍛治広夢（東京大学博士課程）
「シベ語」児倉徳和（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
「サハ語」江畑冬生（日本学術振興会特別研究員）

第 **3** 部　パネルディスカッション
「シベリア研究の魅力」

日時：2011 年 2 月 5 日
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W202 教室
主催：北方研究教育センター

2. 北方研究教育センター講演会
「ロシアの中の少数言語：カムチャッカ先住民のパーソナルヒストリー」
講師：リディア・チェチュリナ（アリュートル語・文化継承者）（ロシア語による講演）
司会：永山ゆかり（北方研究教育センター）
日時：2011 年 2 月 18 日
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W309 教室
主催：北方研究教育センター

［集中講義］
大学院共通科目「北方研究の最前線」（**2011** 年 **2** 月 **7–10** 日）
「北方の少数民族言語」（津曲敏郎）
「北方の自然環境」（池田透）
「ネアンデルタールの北ユーラシアでの行方」（加藤博文）
「近世北方関係文書のよみかた」（谷本晃久）
「シベリア諸言語の記録と保存」（永山ゆかり）
「言語実地調査の目的と方法」（佐藤知己）
「北海道美術史」（北村清彦）

主催：北方研究教育センター

［その他］
「書香の森」企画展示『北方スタイル』
会場：文学研究科 1 階展示スペース「書香の森」
第 1 回カムチャッカ編：ファーとビーズのかわいい小物
日時：2011 年 4 月 10 日 (日) ～ 2011 年 5 月 6 日 (金)

第 2 回サハリン編：暮らしをいろどるうずまきハート
日時：2011 年 5 月 6 日 (金) ～ 2011 年 6 月 8 日 (水)

第 3 回ロシア沿海地方編：森のざわめき 水のきらめき
日時：2011 年 6 月 8 日 (水) ～ 2011 年 6 月 30 日 (木)

［刊行物］
『北方人文研究』第 4 号（2011 年 3 月 31 日刊行）
編集代表者：北村清彦

2011（平成 23）年度
［シンポジウム］
池上二良先生追悼シンポジウム 「北方言語研究の歩み」（**2011** 年 **12** 月 **17** 日）

第一部「北方言語研究の最前線」
「シネヘン・ブリヤート語の『形動詞』」 山越 康裕（札幌学院大学）
「ニヴフ語の複数表示」 丹菊 逸治（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）
「アリュートル語の分詞」永山 ゆかり（北方研究教育センター）
「コリマ・ユカギール語の複合名詞をめぐって」遠藤 史 （和歌山大学）

第二部「池上先生の北方言語研究」
「満洲語学」津曲 敏郎（北方研究教育センター）
「ウイルタ語学」山田 祥子（北海道立北方民族博物館）
「ツングース語学」風間 伸次郎（東京外国語大学）
「アイヌ語学」佐藤 知己（北方研究教育センター）

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W202 教室
主催：北方研究教育センター

［講演会等］
1. 第 **1** 回北方研究センターサイエンス・カフェ
ツンドラカフェ「ウイルタのおばあちゃんと暮らした **1** 年」
話し手：山田祥子（北海道大学大学院博士課程）

日時：2011 年 6 月 4 日（土）14:00–15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W517 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

2. 北方研究教育センター談話会
Correlative Clauses with Interrogative in Udihe:
With a Typological Contemplation of Correlative in the Tungusic Languages
（英語による発表）
講師：白尚燁 （北海道大学大学院修士課程）
日時：2011 年 7 月 2 日
会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟） W517 教室
主催：北方研究教育センター・北海道民族学会（共催）

3. 第 **2** 回北方研究センターサイエンス・カフェ
ツンドラカフェ「歴史から学ぶ、そのために未来に記録を残す：宮城県石巻市の体験から」
話し手：永野 正宏（北海道大学大学院修士課程）
コメンテーター：谷本 晃久 (文学研究科准教授)
日時：2011 年 7 月 30 日（土）14:00-15:30
会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W408 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

4. 北方研究教育センター談話会
「モンゴル語と満洲語の関係について」
（中国語による発表・通訳つき）
講師： ハスバートル（中国黒竜江省満語研究所教授）
日時：2011 年 8 月 2 日
会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟） W517 教室
主催：北方研究教育センター・北海道民族学会（共催）

5. 第 **3** 回北方研究教育センターサイエンス・カフェ
ツンドラカフェ「見て、触れて、創るカムチャッカ先住民アート」
話し手：大澤 夏美 （北海道大学大学院修士課程）
日時： 2011 年 10 月 30 日（土）14:00-15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W517 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

6. 北方研究教育センター談話会

Theory of Written Sign and Practice of Deciphering the Jurchen Script

Aleksandr Pevnov (Institute for Linguistic Studies, Russian Academy of Sciences)

（英語による発表）

日時：2011 年 11 月 18 日

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W517 教室

主催：北方研究教育センター

7. 第 **4** 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ

ツンドラカフェ「都市でゲルに暮らす：ウランバートル市民による街づくりの実践」

話し手：滝口 良 （北海道大学大学院文学研究科博士号候補生）

日時：2011 年 11 月 19 日

会場：北海道大学古河記念講堂 109 教室

主催：北方研究教育センター

後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

8. 言語ダイナミクス科学プロジェクト・北方研究教育センター談話会

「ロシア・トムスク州のシベリア言語研究」

（英語による発表）

Tomsk Program of Documentation of Siberian Indigenous Languages

Andrey Filtchenko (Tomsk State Pedagogical University)

Code-switching in Eastern Khanty: sociolinguistic context of language change

Olga Potanina (Tomsk Polytechnic University/Tomsk State Pedagogical University)

日時：2011 年 12 月 7 日（水）18：00–20：00

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W517 教室

主催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 言語ダイナミクス科学研究プロジェクト（LingDy）・ 北方研究教育センター（共催）

9. 第 **5** 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ

ツンドラカフェ「カムチャッカの伝統文化を歌い継ぐ：先住民アリュートル民族の歌と踊り」

話し手：リディア・チェチュリナ（アリュートル語・文化伝承者）（ロシア語による講演）

司会と通訳：永山ゆかり（北方研究教育センター）

日時：2012 年 2 月 26 日（土）14:00–15:30

会場：北海道大学古河記念講堂 109 教室

主催：北方研究教育センター

後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

10. 北方研究教育センター談話会
「北海の言語」
講演：清水誠（北海道大学大学院文学研究科教授）
日時：2012 年 3 月 23 日
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W403 教室
主催：北方研究教育センター

［刊行物］
『北方人文研究』第 5 号（2012 年 3 月 31 日）

2012（平成 24）年度
［講演会等］
1. 第 **6** 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ
ツンドラカフェ「ソ連のプーさん：ちょっと懐かしいロシアアニメの世界」
話し手：大川 良輔（北海道大学大学院文学研究科博士号候補生）
日時：2012 年 5 月 26 日（土）14:00–15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

2. 北方研究教育センター談話会
「北方言語は南方言語と なぜ違うのか」
講演：時崎 久夫 （札幌大学外国語学部教授）
日時：2012 年 7 月 13 日（土）16:30–18:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W 棟）W202 教室
主催：北方研究教育センター

3. 第 **7** 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ
ツンドラカフェ「沈黙の詩人の饒舌：石原吉郎の見たシベリア」
話し手：根本 萌（北海道大学大学院文学研究科修士課程）
日時：2012 年 7 月 28 日（土）14:00–15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

4. 第 **8** 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ
ツンドラカフェ「記憶と空間：ノーベル 賞作家ブーニンの初期作品をめぐって」
話し手：石原 遼平（北海道大学大学院文学研究科修士課程）
日時：2012 年 12 月 15 日（土）14:00–15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学アイヌ・先住民研究センター

5. 講演会 「カムチャツカ考古学の最前線」
アンドレイ・V・プタシンスキー （国立カムチャツカ大学社会経済学部准教授）
（ロシア語による講演・通訳つき）
日時：2013 年 2 月 8 日（金）18:00–19:15
会場：北海道大学・文系 6 番教室
主催：北海道大学大学院文学研究科北方文化論講座／北方研究教育センター

［その他］
北海道立北方民族博物館移動展「北にくらす子どもたち」写真展
日時：2012 年 4 月 23 日（月）–5 月 18 日（金）10:00–20:00 （平日のみ）
会場：北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」 ギャラリー
主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター／北海道立北方民族博物館
後援：北海道大学総合博物館

［刊行物］
『北方人文研究』第 6 号（2013 年 3 月 31 日刊行）
センター長：佐藤知己、編集担当：谷古宇尚・津曲敏郎

［後援事業］
「北東ユーラシア地域における社会主義体制下のライフヒストリー研究」セミナー
言語学者によるライフヒストリー資料採録
「ウデヘ人教師の自伝出版への道のりとその後」
　津曲 敏郎（北海道大学大学院文学研究科教授）
「あるサハ語教師のライフヒストリー」
　江畑 冬生（日本学術振興会特別研究員／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
日時：2012 年 11 月 21 日（水）15:00–17:30
会場：北海道大学スラブ研究センター小会議室
主催：北海道大学スラブ研究センター平成 24 年度公募型共同研究プロジェクト「北東ユーラシア地域における社会主義体制下のライフヒストリー研究：文化の管理と日常的実践を中心に」（代表・永山ゆかり）
後援：北方研究教育センター

2013（平成 25）年度
［シンポジウム等］
北方研究教育センターフォーラム
「それぞれのロシア：20 世紀北東アジアに生きた人々の語りと記録」
セッション 1「社会主義時代の北東アジア諸民族 の日常生活」
司会：呉人 惠（富山大学）
「アリュートル人の語りに見る社会主義体験」 永山 ゆかり（北海道大学）
「ニヴフ口承文学の語り手たち」 丹菊 逸治（北海道大学）

「となりのロシア人：社会主義モンゴルにおける 市民の商取引と在留ロシア人の関係」
　滝口 良（北大文学研究科専門研究員）

セッション 2「北東アジア少数民族の語りの記録」
司会：永山 ゆかり（北海道大学）
「少数民族言語による自分史と民族史：沿海州ウデヘ人の筆記資料から」
　津曲 敏郎（北海道大学）
「トナカイ遊牧民コリャークたちの語りと言語民族誌」 呉人 惠（富山大学）

セッション 3 「ロシアを出たロシア人たち」
司会：諫早 勇一（同志社大学）・望月恒子（北海道大学）
「ハルビンのロシア語雑誌『ルベーシュ』について」 澤田 和彦（埼玉大学）
「在外ロシア文学の「東方の枝」について」望月 恒子（北海道大学）
「 ヴェルチンスキーと彼の歌―ロシア文化とソヴィエト文化の懸け橋」
　イリーナ・メリニコワ（同志社大学）(ロシア語使用、通訳つき）

日時：2013 年 7 月 6 日（土） 10:00–17:45
会場：北海道大学古河記念講堂 109 教室
主催：北方研究教育センター

［講演会等］
1. 講演と音楽の夕べ 「サハリン先住民の声と響き」
講師・演者：
E. ビビコワ（ウイルタ語伝承者）
I. フェジャエワ（ウイルタ語伝承者）
篠原智花
楢木貴美子

日時：2013 年 9 月 27 日（金）18:30–20:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W408 教室
主催：北方研究教育センター

2. 第 **9** 回北方研究教育センター・サイエンスカフェ
ツンドラカフェ 「ヨーロッパの孤立語を学ぶ**:**いま花盛りのバスク地方」
話し手：杉山朱実 （鹿児島国際大学教授）
日時：2013 年 12 月 21 日 (土) 14:00–15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター

［刊行物］
『北方人文研究』第 7 号（2014 年 3 月 31 日刊行）
センター長：望月恒子、編集担当：永山ゆかり

2014（平成 26）年度
［シンポジウム］
「北方の言語と文化にかんする国際シンポジウム」
International Symposium on Northern Languages and Cultures (ISNLC 2015)
1 月 24 日（土）10:00–16:50
セッション 1 ：言語・文化継承とドキュメンテーション（通訳つき）
「チュコトカにおける民族舞踊保存への道と舞踊文化の実現」
　ウラジスラフ・リンティテギン（チュクチ総合カレッジ）
「モスクワ言語学研究所における少数言語コーパス構築プロジェクト」
　ワレンチン・グセフ（ロシア科学アカデミー言語学研究所）

セッション 2：民族誌の言語資料
「クラシェニンニコフのコリヤーク語資料」永山ゆかり（北方研究教育センター）
「19 世紀末に採録されたニヴフ語テキスト」丹菊逸治（アイヌ・先住民研究センター）
「V. I. ヨヘリソンのユカギール語テキスト」 長崎郁（国立国語研究所）
「ウワロフスキーによる最古のサハ語テキスト」江畑冬生（新潟大学）
「古いエヴェンキ語テキストの表記方法について」松本亮（京都大学）
「無文字社会における他者の記録：中国雲南省ワ族の事例」 山田敦士（日本医療大学）

1 月 25 日 (日)
セッション 3：言語の記録・保存
「ニヴフ語の母音弱化にかんする音響音声学的調査」白石英才（札幌学院大学）
「ツングース諸語の記述的研究史」白尚燁（文学研究科博士課程）
「テキスト・音声データの公開と電子アーカイブ化」津曲敏郎（北方研究教育センター）

セッション 4：アイヌ文学とアイヌ語
「アイヌに伝わる湿地のお化けたち」矢崎春菜（文学研究科博士課程）
「アイヌ口承文芸の 1 論点：半神半人としてのアエオイナカムイとヤイレスーポ」
　北原次郎太（アイヌ・先住民研究センター）
「アイヌの自叙体文芸における文法と構成の技法」奥田統己（札幌学院大学）
「アイヌ語沙流方言の補助動詞構文における述部の複合制約」岸本宜久（文学研究科博士課程）
「アイヌ語のドキュメンテーション：現状と課題」高橋靖以（アイヌ・先住民研究センター）
「アイヌ語の抱合における残置（stranding）回避手段としての充当態（applicative）」
　佐藤知己（北方研究教育センター）

日時：2015 年 1 月 24 日（土）、25 日（日）
会場：北海道大学情報教育館 3 階スタジオ型多目的中講義室
主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター、北海道大学アイヌ・先住民研究センター（共催）

［講演会］
講演会「サハリン先住民文化の保存・復興と博物館活動」
講師：
E. フィルソワ（サハリン州郷土博物館研究員）
O. ソロヴィヨワ（サハリン州郷土博物館研究員）
（ロシア語による講演・通訳つき）

日時：2014 年 6 月 9 日（月）18:30–20:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W309 教室
主催：北方研究教育センター
後援：北海道大学総合博物館

［その他］
巡回写真展「忘れられた歴史のページ**:20** 世紀サハリン先住民 のくらし」
日時：2014 年 7 月 1 日–7 月 25 日
会場：北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」ギャラリー
主催：北方研究教育センター・北海道立北方民族博物館・サハリン 州郷土博物館（共催）
後援：北海道大学総合博物館

［刊行物］
『北方人文研究』第 8 号（2015 年 3 月 31 日刊行）
センター長：望月恒子、編集担当：永山ゆかり

［協力事業］
1. 展示「北方スタイル **2014**」（文学研究科企画展示「『ほかにない』がここにある。」内）日時：2014 年 4 月 8 日–5 月 31 日
会場：インフォメーションセンター「エルムの森」

2. 「北大文学研究科のフィールドワーク」（第 **14** 回北大人文学カフェ・拡大版）
動物の世界「人と野生生物のかかわりを探る」
　立澤史郎（文学研究科）

北方の世界「北方スタイル～シベリア先住民アートの世界」
　津曲敏郎（文学研究科）、 永山ゆかり（文学研究科）

日時：2014 年 08 月 06 日 12:00–16:00
会場：札幌駅前通地下歩行空間北 3 条交差点広場（西）
主催：北海道大学大学院文学研究科・人文学カフェ実行委員会

2015（平成 27）年度
［シンポジウム］
国際シンポジウム **Northeast Asia and the North Pacific as a Linguistic Area**
Session 1 (Chair - John Whitman)
Ergative alignment in nominalizations in earlier Yukaghir data (Iku Nagasaki)
On the possibility of community based dispersive Ainu language archives network (Itsuji Tangiku & Takayuki Hashimoto)

Session 2 (Chair - Hidetoshi Shiraishi)
Noun incorporation and the problem of accent assignment in Ainu (Tomomi Sato)
The age of polysynthesis in Ainu (Anna Bugaeva)
On the special features of the Shimdt peninsula dialect of Nivkh (Ekaterina Gruzdeva)

Session 3 (Chair - Ekaterina Gruzdeva)
Stress-dependent height harmony in Nivkh (Hidetoshi Shiraishi & Bert Botma)
On the historical origin and typological context of the Ainu possessive form (Juha Janhunen)

日時：2015 年 8 月 20 日（木）–21 日（金）
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W201 教室
主催：国立国語研究所、北方研究教育センター、アイヌ・先住民研究センター、Helsinki Area & Language Studies Initiative, University of Helsinki（共催）

［講演会等］
1. 北方研究教育センター談話会　Figura Etymologica in Uilta
講師：ワレンチン・グセフ（ロシア科学アカデミー言語学研究所／日本学術振興会）日時：2015 年 7 月 3 日（金）18:30–20:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター

2. 北方研究教育センター・サイエンスカフェ
第 10 回ツンドラカフェ「小さな国と 3 つのことば：ルクセンブルクの言語状況」
話し手：西出佳代（文学研究科専門研究員）
コメンテーター：熊坂亮（北海学園大学准教授）
日時：2015 年 7 月 4 日（土）14:00–15:30
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター

3. 北方研究教育センター談話会　**Sustaining indigenous languages in the Russian Far East**
講師：エーリヒ・カステン（Foundation for Siberian Cultures, Fuerstenberg/Havel）日時：2015 年 10 月 27 日（火）18:30–20:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北方研究教育センター

4. 北方研究教育センター講演会／日本シベリア学会特別講演
「シベリアからロシア極東へ：地域史研究をふりかえる」
講師：原 暉之（北海道大学名誉教授）
日時：2015 年 11 月 21 日（土）
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W309 教室
主催：北方研究教育センター・日本シベ リア学会（共催）

5. セミナー
Genetic Divergence and Areal Convergence in Mongolic: Evidence from Buryad and Dagur
講師：ジャルガル・バダガロフ
（ブリヤート国立大学／東京外国語大学アジア・アフ リカ言語文化研究所）
日時：2016 年 1 月 22 日（金）18:30–20:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W517 教室
主催：北極域研究センター・北方研究教育センター（共催）

［刊行物］
『北方人文研究』第 9 号（2016 年 3 月 31 日刊行）
センター長：谷古宇尚

2016（平成 28）年度
［シンポジウム］
1. 日露国際研究集会「コレクション形成史からみる日露関係史」
ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所（**IOM**）所蔵アイヌ・北方関係史料の共同研究

第一部：樺太旧蔵書のゆくえ
「IOM 所蔵の旧樺太庁所蔵日本古典籍のコレクションについて」
　マランジャン・カリネ（ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所）
「IOM 所蔵の樺太旧蔵書について — 旧樺太文化史研究の視点から —」
　鈴木仁（北海道大学大学院）
「北海道における樺太旧蔵書について」
　田村将人（東京国立博物館）

第二部：**IOM** 所蔵アイヌ・北方関係史料のコレクション形成史とその周辺
「 露米会社と日本の北方地域」
　兎内勇津流（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）

「IOM 所蔵の露米会社・フヴォストフ旧蔵日本古典籍コレクションについて」
　シェプキン・ワシーリー（ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所）
「日本におけるフヴォストフ事件関係史料」
　東俊佑（北海道博物館）
「在サンクトペテルブルクの A.V. グリゴーリエフ・コレクションについて」
　鈴木建治（北海道大学国際本部）
「IOM 所蔵アイヌ・北方関係史料の魅力」
　佐々木利和（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

日時：2016 年 7 月 10 日（日） 10:00–17:00
会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W103 教室
主催：北海道大学アイヌ・先住民研究センター 、東京大学史料編纂所海外 S 科研（研究代表者：保谷徹）、ロシアⅢユニット（研究分担者：谷本晃久）、北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター（共催）

2. 北方の言語と文化にかんするシンポジウム「北方の人と動物」
Symposium on Northern Languages and Cultures 2017

プログラム
［基調講演］ Early Russian Colonization of Siberia: Cultural and Linguistic Consequences
　エヴゲーニー・ゴロフコ（ロシア科学アカデミー言語学研究所）

セッション **1**：言語・文学と動物
司会・討論　藤代節（神戸市看護大学）
「語形成から見たアリュートルの動物観」永山ゆかり（北方研究教育センター）
「ユカギール語資料に見られる動物のイメージ」長崎郁（国立国語研究所）
「ロシアの文学とフォークロアにおける動物変身譚」
　越野剛（スラブ・ユーラシア研究センター）

セッション **2**：社会・環境と動物
司会・討論　立澤史郎（北方研究教育センター）
「シベリアにおける野生トナカイの生態変化と地域住民への影響」
　立澤史郎（北方研究教育センター）
「北方樹林のエンジニアたち：内陸アラスカにおけるヒト・サケ・ビーバーの関係から」
　近藤祉秋（アイヌ・先住民研究センター）
「グリーンランドの自然環境の変化と地域社会への影響」的場澄人（低温科学研究所）

日時：2017 年 1 月 28 日（土） 10:30–17:50
会場：北海道大学文系共同講義棟 1 階 2 番教室
主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター
※本シンポジウムは文学研究科および以下の研究課題により運営されました。
科研費基盤研究 C「消滅の危機に瀕する古アジア諸語の再活性化のための辞書編纂と語彙データベース

構築」（#25370453：永山ゆかり）；北極域研究共同推進拠点　平成 28 年度共同利用・共同研究課題（共同推進研究）「北極域の人類社会における生業活動と大規模な変化への適応」（代表：近藤祉秋）；北極域研究推進プロジェクト（ArCS）；日本学術振興会外国人研究者招へい事業

［講演会等］

1. 千葉大学人文社会科学研究科地域研究センター／北方研究教育センター講演会

Mednyj Aleut, a mixed Aleut-Russian language: social and structural aspects

講師：エウゲニー・ゴロフコ博士（ロシア科学アカデミー言語学研究所副所長）

日時：2016 年 11 月 18 日 (金) 16:10–17:40

会場：千葉大学西千葉キャンパス 人文社会科学系総合研究棟 4 F 共同研究室 2

主催：千葉大学人文社会科学研究科地域研究センター・北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター（共催）

2. 北方研究教育センター談話会：日本史学・歴史 文化論講座合同 修士論文中間報告会

報告 1： 戦後アイヌ民族と「土地」に関する一考察：サハリン・北海道を中心に

日本史学専修 岩渕真由子（修士課程 2 年）

報告 2： 北海道における強制労働の記憶と平和に関する人類学的研究

歴史文化論専修 呂若萌（修士課程 2 年）

日時：12 月 3 日（土）15:00 –18:00

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W309

主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

3. SRC 特別セミナー「今日のアラスカにおけるロシア語とロシア文化の影響の痕跡」

報告者： エヴゲニイ・ゴロフコ（ロシア学士院言語学研究所）（使用言語：ロシア語）

日時：2 月 17 日（金）16:00–17:30

会場：スラブ・ユーラシア研究センター 4 階小会議室（401 号室）

主催：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

共催：日本ロシア文学会北海道支部・北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

4. 津曲敏郎先生　退職記念講演会

演題「辺境の言語学：コトノハノハノトコ」

日時：2017 年 3 月 25 日（土）15：00–17：00

会場：北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟W 202 教室

主催：北海道大学文学部 北方文化論講座・文学研究科北方研究教育センター（共催）

［刊行物］

『北方人文研究』第 10 号（2017 年 3 月 31 日刊行）

センター長：白木沢旭児、編集担当：佐藤知己・永山ゆかり

［後援事業］
レクチャー&コンサート「口琴から広がるサハの世界」
演奏とおはなし：
イヴァン・アレクセイエフ（国際口琴センター代表）
スピリドン・シシーギン（サハ共和国文化功労者）
キム・ボリソフ（国際口琴協会理事）
司会と解説： 荏原小百合（北大文学研究科専門研究員）

日時：2016 年 11 月 06 日（日）14:00–16:00
会場：北海道大学総合博物館 1F「知の交流ホール」
主催：北海道大学総合博物館・北海道民族学会（共催）
後援：北海道大学文学研究科北方研究教育センター・塘路口琴研究会「あそう会」 ・国際口琴センター（サハ共和国）

2017（平成 29）年度
［シンポジウム等］
1. 北方研究教育センターシンポジウム「モンゴルにおける日本人抑留の歴史」
モンゴルにおける日本の抑留者（1945-- 1947）：国際関係上の出来事と国民の悲劇
報告者：セルゲイ・クズネツォフ（イルクーツク大学教授）
ロシア語による報告（通訳：兎内勇津流、永山ゆかり）

コメンテーター：
荒井幸康（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター）
田淵陽子（東北学院大学）

日時：2018 年 1 月 26 日（金）18:00–20:30
会場：北海道大学人文・社会科学教育研究棟 W201 室
主催：北海道大学大学院文学研究科 北方研究教育センター
共催：科研基盤研究（A）「日ソ戦争および戦後の引揚・抑留に 関する総合的研究」

2. 国際ワークショップ「北極域の渡り鳥をアジアで守る！」
「趣旨説明」立澤 史郎（文学研究科／ CNH ／ ARC-HU）
「渡り鳥とアイヌのかかわり」 郷右近 富貴子（阿寒口琴の会）

シベリアから
「シベリア鳥類相の変遷と保全の現状」
Arkadii Isaev （ロシア科学アカデミー凍土圏生物問題研究所）
「サハ共和国におけるツル類の保全と国際協力の現状」
Mariia Vladimirtceva（ロシア科学アカデミー凍土圏生物問題研究所）
（通訳：塚田 力）

東南アジアから
「東南アジアにおける渡り鳥と人の関係～特に台湾での長期調査から」
　Scott Simon（カナダ・オタワ大学人類学部）

日本から
「雁と人の関係再生の道～雁の里親友の会がめざすこと」　池内 俊雄（雁の里親友の会）
「西南日本におけるツル類の生息状況と保全上の課題」
　増山 雄士（山口県周南市教育委員会）
「渡り鳥調査における国際協働の重要性」
　澤 祐介（バードライフ・インターナショナル東京）

総合討論
コメンテーター：
長谷川 理（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所）
近藤 祉秋（北海道大学アイヌ・先住民研究センター）

日時：2018 年 2 月 10 日（土）13：30–17：30
会場：北海道大学「遠友学舎」（札幌市北区北 18 条西 7 丁目）
主催：北海道大学大学院文学研究科 北方研究教育センター
共催：北海道大学北極域研究センター（ARC-HU）

［講演会等］
1. 北方研究教育センター談話会「修士・博士論文中間報告会」
報告「蝦夷三官寺住職の知恩院門跡院家就任」日本史学専修 宮本花恵（博士課程 3 年）

日時：2017 年 11 月 18 日（土）
会場：北海道大学人文・社会科学教育研究棟 W201 教室
主催：北海道大学大学院文学研究科 北方研究教育センター

2. Human-animal relations 連続ゼミ
第 **1** 回：サケと人
“Densities of Industrial Disturbance: Large-scale Salmon Production, Watershed Change, and the Redistribution of Fish”
報告者：ヘザー・スワンソンさん（オーフス大学人類学科）

日時：2017 年 12 月 14 日（木）5 限（16：30～18:00 頃）
会場：北大人文社会総合棟 W202 室

第 **2** 回：ツルと人
テーマ：「歴史資料から復元するツルの生息実態と人との関わり」
報告者：久井貴世さん（北大文学研究科）

日時：2017 年 12 月 21 日（木）5 限（16：30～18:00 頃）
会場：北大人文社会総合棟 W202 室

第 3 回：北極域における生物多様性保全と先住民の役割
テロ・ムストネン氏講演会「コミュニティ主導の環境モニタリングと北方の生態系復元」
報告者：テロ・ムストネン（Snowchange Cooperative 代表）

日時：2018 年 1 月 20 日（金）13：00～
会場：北大アイヌ・先住民研究センター会議室主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター共催：アイヌ・先住民研究センター 生業と食 WG、北極域研究センター、J-Arc Net 共同推進研究・共同研究集会 「シベリア北極域鳥類多様性保全のための国際共同調査の実施」&「北極域と日本を往復する渡り鳥標識データベー スの統合とオープンサイエンス化に向けた国際会議 」&「北極域における人新世の生業システム」協力：ArCS（文科省北極域研究推進プロジェクト）テーマ 6 & 7

3. 北方研究教育センター談話会
「千島アイヌ語の資料とその有用性」
　アンナ・ブガエワ（東京理科大学）
「在ロシア千島アイヌ語資料の意義—江戸時代の古記録との関係を中心に」
　佐藤知己（北海道大学）

日時：2018 年 3 月 7 日（水）17：30～
会場：北海道大学人文・社会科学教育研究棟 W205 教室
主催：北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター

［刊行物］
『北方人文研究』第 11 号（2018 年 3 月 31 日刊行）
センター長：白木沢旭児、編集担当：永山ゆかり